



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4601S		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	美濃輪 正行		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 3		
講義室	2303	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>DP4-F [探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP3-H [論理的思考力] 理論整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP8-M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状況に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■ CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (CR) との関連</p> <p>CP1-E1 学識・専門技能 学識と専門技能 (20%)</p> <p>CP4-F2 課題解決 (20%)</p> <p>CP3-H1 論理的思考 (20%)</p> <p>CP4-I1 理解・分析と読解 (20%)</p> <p>CP4-I3 情報分析 (20%)</p>		
教員の実務経験	<p>担当教員は、当大学着任前に情報サービスを提供する民間企業の勤務経験がある。本講義で取り扱う内容は、情報システムが現在に至る経緯を理解するものである。情報システムに関する知見は広範囲に亘っており、包括的な視点からの考察が求められる。担当教員は情報サービスを直接提供する立場でシステム構築や運用管理等で様々な経験を積んでおり、これらの実務経験を積極的に講義に取り込んでいく所存である。(第1回～15回)</p>		
成績ターゲット区分	<p>■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>3 発展期</p>		
科目概要・キーワード	<p>教員は、危機管理に関する専門的な問題解決のための準備段階レベルの知識を身に付けるための指導を行う。これによって、学生自身の現代社会の根源に関する興味を喚起して、専門分野の研究を自主的に進めることを目指す。教員は、社会的問題のリスクの背景に存在する歴史的経緯に関するいくつかのテーマを提示し、また後のゼミナールに続く研究テーマを検討する際の参考情報となる。授業形態は講義及びディスカッション形式により行う。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p>		

	(キーワード) 研究テーマの策定 ビッグヒストリ 危機管理、情報技術								
授業の趣旨	<p>■副題 情報化社会に至るまでの歴史的経緯を考える</p> <p>■授業の目的 私達が生活する環境や時代は約百年前から飛躍的にかつてない速度で進化している。ミクロの視点では、人工知能の汎用化が危惧され、量子コンピュータの実用化も計画段階に入った等の先進的な話題も魅力的ではあるが、このような状況に至るまでのマクロ的な視点から歴史的経緯を振り返ることは、今後の人間と技術の関係を考える上で大変有益である。この授業では、人類誕生、狩猟採集社会、農耕社会を経て、更に産業革命から現在までの脅威的な進化を遂げた流れを俯瞰して、現在の情報技術の状況やあるべき姿を省察する。このような歴史的経緯の理解を第一義とするが、これにより後続の情報技術やリスク分析に関する科目ではより深い考察が生まれることを期待する。</p> <p>■授業のポイント 授業で説明する知識要素も重要であるが、根源的な問題や当たり前の状況に疑問を持ったり、更に問題を掘り下げる探究心を高める狙いもある。衣食住に対する欲求がいかに形成されてきたか、それらを物理的に実現する工程等々を深く探究する。探究心から新たな問題が発見されたり、現状を打破する発想から破壊的イノベーションが生まれる可能性も十分考えらえる。ビッグヒストリの視点から現状の根拠を様々な視点で考えることにより向学心を刺激するであろうことを期待している。</p>								
総合到達目標	<p>■ 情報化社会に至るまでの歴史的経緯の概要を把握する。</p> <p>■ 理解した内容を他者の共感を得られるよう発表する。</p> <p>■ 情報セキュリティ領域の学習に応用できるように、自発的に新たな問題を提起できる探究心の活性化を図る。</p>								
成績評価方法	<p>■ 研究レポート（60%）：適用ルーブリック E1・F2・H1・I1・I3 (評価の観点) * 自らの気づきまたは考察した結果を文書化する。 * 文書表現、事象把握の的確さを意識する。 (フィードバックの方法) * レポート毎に、採点結果を公開する。 * 成果物を評価して、各学生に個人指導を行う。</p> <p>■ 授業参加度・学部貢献（40%）：適用ルーブリック C1・F2・L1 (評価の観点) 授業に参加して自らの意見を発表する。要請に応じて学部の貢献活動を行う。 (フィードバックの方法) 出欠情報としてポータルシステムに公開する。</p>								
履修条件	「情報システム論/情報技術と社会」の内容を理解していることが望まれる。未履修の学生は教員から提示された教材を使って自習すること。								
履修上の注意点	授業に参加することを最優先に考えること。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>①授業テーマ ガイダンス（コース目標・運営・評価）</p> <p>②授業概要 ガイダンスとして講義の方針と目標、運営方法、講義の構成、評価方法について説明します。(I1)</p> <p>③予習（240分） 「情報システム論/情報技術と社会」の講義資料を読むこと。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 全体概要</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読（E1・I1・I3）、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする（H1・I1・L1）。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。（I1・E1）</p> <p>③予習（120分） 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習（120分） 授業内容を振り返って資料を再読する。</p> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 物理的異変から科学的異変へ</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ ガイダンス（コース目標・運営・評価）</p> <p>②授業概要 ガイダンスとして講義の方針と目標、運営方法、講義の構成、評価方法について説明します。(I1)</p> <p>③予習（240分） 「情報システム論/情報技術と社会」の講義資料を読むこと。</p>	2	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 全体概要</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読（E1・I1・I3）、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする（H1・I1・L1）。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。（I1・E1）</p> <p>③予習（120分） 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習（120分） 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>	3	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 物理的異変から科学的異変へ</p>
回	内容								
1	<p>①授業テーマ ガイダンス（コース目標・運営・評価）</p> <p>②授業概要 ガイダンスとして講義の方針と目標、運営方法、講義の構成、評価方法について説明します。(I1)</p> <p>③予習（240分） 「情報システム論/情報技術と社会」の講義資料を読むこと。</p>								
2	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 全体概要</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読（E1・I1・I3）、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする（H1・I1・L1）。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。（I1・E1）</p> <p>③予習（120分） 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習（120分） 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>								
3	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 物理的異変から科学的異変へ</p>								

	<p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読（E1・I1・I3）、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする（H1・I1・L1）。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。（I1・E1）</p> <p>③予習（120分） 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習（120分） 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>
4	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 狩猟採集時代①</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読（E1・I1・I3）、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする（H1・I1・L1）。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。（I1・E1）</p> <p>③予習（120分） 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習（120分） 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>
5	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 狩猟採集時代②</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読（E1・I1・I3）、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする（H1・I1・L1）。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。（I1・E1）</p> <p>③予習（120分） 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習（120分） 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>
6	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 農耕時代①</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読（E1・I1・I3）、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする（H1・I1・L1）。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。（I1・E1）</p> <p>③予習（120分） 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習（120分） 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>
7	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 農耕時代②</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読（E1・I1・I3）、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする（H1・I1・L1）。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。（I1・E1）</p> <p>③予習（120分） 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習（120分） 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>
8	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 農耕時代③</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読（E1・I1・I3）、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする（H1・I1・L1）。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。（I1・E1）</p> <p>③予習（120分） 事前に提示された資料を精読する。</p>

	<p>④復習 (120分) 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>
9	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 農耕時代④</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読 (E1・I1・I3)、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする (H1・I1・L1)。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。 (I1・E1)</p> <p>③予習 (120分) 事前に提示した資料を読んでくる。</p> <p>④復習 (120分) 事前に提示された資料を読んでくる。</p>
10	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 近代①</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読 (E1・I1・I3)、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする (H1・I1・L1)。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。 (I1・E1)</p> <p>③予習 (120分) 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習 (120分) 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>
11	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 近代②</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読 (E1・I1・I3)、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする (H1・I1・L1)。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。 (I1・E1)</p> <p>③予習 (120分) 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習 (120分) 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>
12	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 現代(情報化社会)①</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読 (E1・I1・I3)、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする (H1・I1・L1)。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。 (I1・E1)</p> <p>③予習 (120分) 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習 (120分) 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>
13	<p>①授業テーマ ビッグヒストリ入門 現代(情報化社会)②</p> <p>②授業内容 事前に提供された資料を保有する知識と読解力を駆使して精読 (E1・I1・I3)、授業に臨む。授業内では、教員の助言も交えて各学生がテーマを出して、ディスカッションする (H1・I1・L1)。他者の意見や教員の指摘により、気づきを得たり、自身が持っていなかった知見や考え方を認識する。 (I1・E1)</p> <p>③予習 (120分) 事前に提示された資料を精読する。</p> <p>④復習 (120分) 授業内容を振り返って資料を再読する。</p>
14	<p>①授業テーマ 総括 1</p> <p>②授業概要 授業で取り扱ったすべてのケースを振り返って、受講者間で意見を交換する。本科目で履修した内容をまとめた研究レポートの作成に当たってガイドダンスを行う。 (E</p>

	<p>1・H1・I1・I3) ③復習(240分) ガイダンスにある条件を満たすように研究レポートを編集、提出する。</p>
15	<p>①授業テーマ 総括2 ②授業概要 各自が作成したレポートを説明、意見を交換することにより自分の意見と比較、思考範囲を拡大する。(E1・H1・I1・I3) ③復習(240分) 作成した研究レポートを再考して、現代に至る経緯を振り返る。</p>
関連科目	情報技術と社会(RMGT1308S), 危機管理特殊講義2(デジタルリスク), 歴史学1(RMGT/SSCS1121), 歴史学2(RMGT/SSCS1122), 近代史1(RMGT/SSCS1123), 近代史2(RMGT/SSCS1124)
教科書	特にありません。使用する資料は教員から提供します。
参考書・参考URL	講義中に適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 開講時に公開します。 ■オフィスアワー 開講時に公開します。</p>
研究比率	<p>■危機管理四領域との対応 情報セキュリティ:70% 災害マネジメント:10% パブリックセキュリティ:10% グローバルセキュリティ:10% ■危機管理と法学との割合 危機管理:95% 法学:5%</p>

